

## 技研の研究発表会に参加して (大阪会場)

今西宏之

去る、6月11日に関西サイクルセンターにおいて、技術研究所主催による、平成3年度研究発表会が行われ、当社からも、2名参加させて頂き有意義な時間を過ごせたと思います。

当日は、6月初旬にも係らず、季節外れの猛暑で、真夏を思わせるような一日でした。おまけに、発表会場のエアコンが不調で、発表者と参加者は、汗をふきふき、文字通り、熱の込もった研究発表会になったと思います。

さて、話は変わりますが、毎回研究発表会に参加させて頂き、思う所が若干あります。一つは会場の放送設備の状態が悪く、発表者の声が聞き取りにくいこと、それと、発表方法が単調であったことです。特に発表方法については、ビデオやスライドなどビジュアルを多用し、視覚よりの理解を深める方法が良いと思います。また、研究発表予稿集の配布については、事前にそれも、参加者に直接郵送して頂きたいと思います。その方が、発表を当日聞いて、内容について質問を求めるよりは、より内容の濃い研究発表会になると思います。そして、発表件数は今回の発表程度が適当と思えます。それと、研究発表会には、勉強会を兼ねるということで、各界の専門家を講師として1人ないし、2人呼んで頂ければ、さらに参加者も増えることと思います。

次に今後、技術研究所で取り組んでもらいたいテーマ

として、個人的な要望を述べたいと思います。まず第一に、一企業としては資金的にも、人的にも難しいテーマを希望します。特に新素材や新工法など、製品に展開する場合など、必要な基礎データを長期的な実験により、信頼度の高いデータとして提供してもらいたいと思います。次に、新しい品質確認試験の開発、赤外線応力解析装置等の導入による、品質確認試験のより一層の充実をお願いします。それにより、今後増々厳しくなってくる製品(自転車)の安定性向上に寄与してもらいたいと思います。

第3番目に、エコロジー問題です。自転車自身はそれだけでも、その他の乗り物と比較すると、十分過ぎるほど地球環境にやさしいといえます。しかし、地球資源の有効利用、特にリサイクルという面では、今のままで十分であるとはいえません。特に最近増えてきた樹脂部品や放置自転車のリサイクルなど、ハード、ソフトに係らず何か、地球に一番やさしい乗り物として、自転車の地位向上に技術的な面からアプローチしてもらいたいと思います。

以上大雑把な内容になりましたが、研究発表会を通して感じたことを述べさせて頂きました。今後さらに、業界と技術研究所がギブアンドテイクで、技術的な向上をめざして、努力できることを、希望します。

(筆者は、ナショナル自転車工業㈱品質保証課)